

5つの視点	30のポイント	要素	場所	施設整備マニュアルに掲載する・しない	分類	
A. 色(明度)の組み合わせ	1. 明度のコントラストを強くする	認識して欲しいところ	【屋内】 床と壁 床と家具(ベンチ、椅子、ベッド、テーブル、棚など) 壁と扉(使用する扉) 壁と手すり、スイッチ 階段の段鼻 サインと背景の下地/壁 【トイレ】 便器と床/壁 トイレトペーパーホルダーと壁 個室ドア/壁と床 手すりと壁 【屋外】 正面玄関(外側) 構造物と地面	する	数値基準	
	2. 明度のコントラストを弱くする	認識して欲しくないところ	スタッフ用扉と壁	する	数値基準	
		床		する	数値基準	
B. サインと目印の活用	3. 読みやすく、わかりやすいサインをつける	文字とピクトグラムを併記する		する	要素	
		適切なサイズを設定する		する	数値基準	
		コントラストをつける		する	数値基準	
		使い慣れた言葉で表示する		する	コラム	
	4. 適切な場所へサインをつける	見やすい高さに設置する		する	数値基準	
		扉面に設置する		する	要素	
		判断が必要な場所に配置する	入口 分岐点 扉を押す、引く トイレの誘導サイン トイレ扉面	する	要素	
5. トイレの扉の表面にサインをつける	扉面にサインをつける		する	要素		
	建物内で統一した色にする		する	要素		
6. 居室や自宅前に、思い出の品や目印を置く			しない	要素		
7. 適所に目印となる特徴的なものを置く			しない	要素		
C. 明るさの調節	8. 十分な照明を配置する			する	数値基準	
	9. 十分な自然光を取り込む			する	要素	
	10. 時間帯にあわせて照明の明るさを調整する			する	数値基準	
	11. 不快な眩しさを抑える	カーテンやブラインドの使用		する	要素	
		反射しない素材の使用		する	要素	
		屋内外の移行空間		しない	要素	
12. 廊下は影や暗い部分ができないようにする	極端な照度差を作らない		する	数値基準		
D. 親しみや安心感への配慮	13. 自宅のような雰囲気をつくる			しない	コラム	
	14. やりたいことを自分で選べる空間を設ける	目的が明確な場所		しない	コラム	
		一人になれたり、大勢で一緒になれる場所		しない	コラム	
	15. 乱雑な空間を避ける			する	要素	
	16. 目的の場所や物が直接見える工夫をする			する	要素	
	17. 室内の反響や騒音を抑える			する	数値基準	
	18. 使いやすい家具を選定し、利用しやすく配置する	椅子/ベンチの配置		する	要素	
		トイレ内の手すり、トイレトペーパー、スイッチの配置		する	数値基準	
		トイレ内の洗面台・蛇口 使いやすいもの		する	要素	
		鏡への対応		しない	要素	
		時計の配置		しない	要素	
	19. 認知症の人が利用する扉には鍵をかけない			しない	要素	
	20. 行き止まりは興味を惹かせる工夫をする	行き止まりを避けたり、人が休んだり、方向転換したり、戻ったりできるように座れる場所		しない	コラム	
	21. 食事に集中できる空間を整える	少人数で食事ができる		しない	要素	
	22. 大きな模様や強い模様を使用しない	大きな模様、強い模様の定義づけは必要		する	コラム	
	23. 座っている状態から外が見える位置に窓を設置する	座っていても外の景色が眺められる		しない	コラム	
		よじ登って出られないように、開く範囲が制限されている				
	24. トイレはすぐに見える場所に設置する	共用施設や居室から直接見える、もしくはサインが見える		する	要素	
	E. 安全な屋外空間	25. 安全に屋外へ出入りできるようにする	出入口の取っ手が開けやすい		する	要素
			屋内外の段差をなくす		する	数値基準
			屋内外の床と地面のコントラストをなくす		する	数値基準
			敷地外に出ない工夫		しない	コラム
		26. 歩道部分は、段差、滑り、反射をなくす	段差がない		する	要素
			滑りにくい		する	要素
反射しない				する	要素	
水はけが良い				する	要素	
車道と明確な区別がある				する	要素	
27. 屋外からトイレにたどり着きやすくする		トイレの位置(見えるところ)		しない	要素	
		サインの設置		しない	要素	
28. 楽しく動けるよう花壇などを配置する				する	コラム	
29. 休憩場所としてベンチなどを設置する		固定されて安定		する	要素	
		地面とコントラスト		する	数値基準	
30. 子どもたちが訪問しやすい工夫をする				しない	コラム	